

## 今日のトピック 世界の「投信マネー」(2018年7月)

# 2018年6月は「日本」、「中国」株式ファンドへ資金流入

### 株式ファンドは「日本」と「中国」が流入超

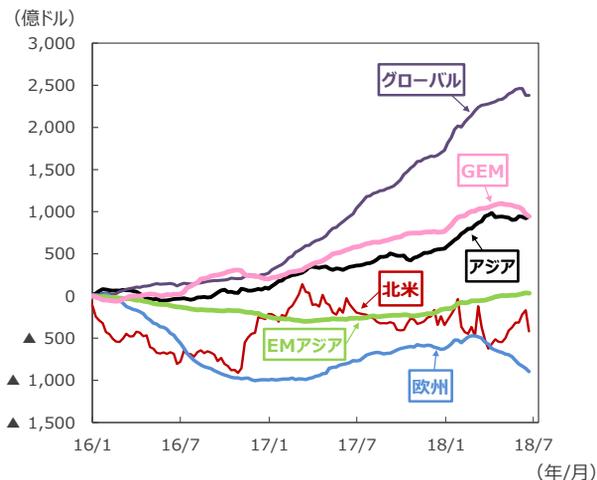
- 6月の株式ファンドフローは、株式全体で▲361億ドルと2016年10月以来の流出超となりました。内訳は先進国が2カ月ぶりの流出超(▲264億ドル)、新興国が2カ月連続の流出超(▲97億ドル)です。先進国、新興国がともに流出超となったのは2016年6月以来2年ぶりです。
- 先進国の内訳を見ると「欧州」が▲131億ドル、「北米」が▲102億ドル、「グローバル」が▲71億ドルでした。「アジア<sup>(注3)</sup>」は40億ドルの流入超(「日本」が+42億ドル、他の地域が▲2億ドル)となりました。新興国の内訳を見ると、新興国全体に投資する「GEM<sup>(注4)</sup>」が▲116億ドルと2カ月連続の流出超でした。ただ、「EMアジア<sup>(注5)</sup>」は+24億ドルと前月の+3億ドルより増加し、8カ月連続の流入超となりました。
- 「EMアジア」のけん引役は「中国」です。「中国」は2017年11月以来流入超が継続しています。中国株式市場は米中貿易摩擦懸念から調整色を強めていますが、アリババやテンセントなど中国国内の需要を取り込む情報技術セクターは総じて堅調に推移しています。こうしたハイテク分野を組み入れたファンドへの資金流入が継続している可能性があります。

### 債券ファンドは2カ月連続の流出超

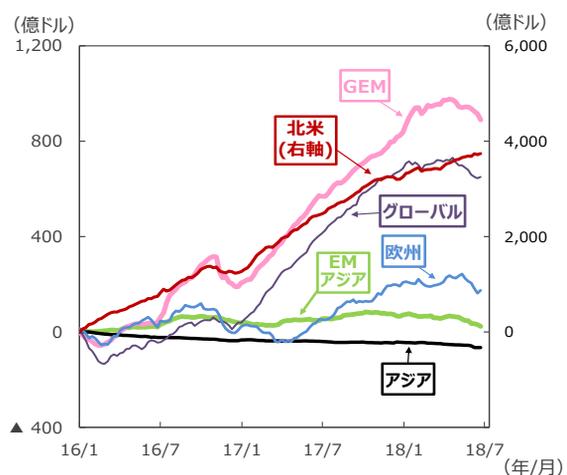
- 債券ファンドは▲108億ドル(前月▲4億ドル)と2カ月連続の流出超となりました。内訳は先進国が▲27億ドル、新興国が▲81億ドルでした。先進国は「北米」が+50億ドル(前月+82億ドル)と流入超が継続した一方、「欧州」が▲38億ドル(前月▲13億ドル)と2カ月連続、「グローバル」が▲30億ドル(同▲32億ドル)と3カ月連続で流出超となりました。
- 一方、新興国は「GEM」が▲54億ドル(前月▲21億ドル)、「EMアジア」も▲24億ドル(同▲17億ドル)と2カ月連続で流出超となりました。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

### 【主要地域別株式ファンドの資金フロー】



### 【主要地域別債券ファンドの資金フロー】



- (注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2018年5月末現在32.6兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。  
(注2) データは2016年1月～2018年6月。週次ベース。2016年1月からの累計。  
(注3) 「アジア」は日本、豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール。  
(注4) 「GEM」はGlobal Emerging Markets(世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称)。  
(注5) 「EMアジア(新興アジア)」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。  
(出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここもチェック!** 2018年6月25日 2018年7月の注目イベント  
2018年6月22日 選別色が強まるアジア株式市場

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。